

船頭「海に落ちて溺れ死にましたよ」

商人「お祖父さんは、どこで」

船頭「お祖父さんも、其次のお祖父さんも、みんな海で死にました」

商人「やれ〜、そんなに皆さんが、海で死んだのに、お前さんはよく、平気で海に出られますね」

船頭「時に、あなたのお父さんは、どこでお失くなられたのですか」

商人「まあ、仕合はせと、床の上で死にましたよ」

船頭「お祖父さんは、商人「お祖父さんも曾祖父さんも、皆床の上で死にましたよ、ハイ」

船頭「やれ〜そんなに皆さんが、揃ひも揃つて床の上でお死になされたに、あなたは、よくま

あ、平気で毎晩、寢床に寝て居られますね

二つの鋏

或る日一人の農夫が、鍛冶屋で鋏を二丁買ってきました。そして一丁は、毎日田や畑へ持つて使ひましたが、他の一丁は使はずに買つて来たまゝ、壁にかけて置きました。其から八九個月して此の二丁の鋏を較べて見ましたら、始終使つて居る方は、ピカ〜光つて綺麗でしたが、使はずに壁にかけて置いた方は、錆だらけで汚なくなつて居ました。

法螺國通信

ふくべ、こまを

さて、何から前に御通信申し上げて宜しく候哉、常國に参り候ては、まことに珍らしき事ばかりに

て、何れも法螺の種ならぬは之なく、先づ、其二
 三を、かいつまんで御知らせ申上候。
 第一番に驚き候は、始めに宿屋へ着き候處、丸焼
 の鳥が、併も二羽、庭中を飛び廻はり居り候事
 に候。然る處、此國の鐵や石は、餘程奇態と相見
 え石白や、鐵鎚が、さも輕そうに、河を流れ居り
 候。此間も可笑しき話有之候。盲者と啞者と跛者
 と、三人して野菟狩りに出で候由にて、先づ盲者
 が、第一に野菟を目付け候處、啞者が早速夫を跛
 者に知らせしに、跛者は、直ちに驅けつて行つて
 其野菟を引つ捕へ候由に御座候。
 モ一つ可笑しかりしは、地面に帆前船を浮かべたる
 人の話に候、先づ、平地にて十分帆を張り上げ野
 原まで走らせ候はよかりしも、山を越へようとし
 て船轉覆し、とう／＼其爲に溺死致し候由に御座

候、其他當地にて、蟹と兎との競走は常に蟹の勝
 利に歸し居り候、牝牛は何處にても木の枝に上り
 て眠り居り候、蠅は非常に大きなものにて大方山
 羊程の大きさもあるべく候早々

考 へ 物

- 盲人にでも見えるものは何?
- 自分の物であつて、自分の手に入る前に、先づ
 人に取られるものは何?
- 鳥が十羽木に止つて居たのを鐵砲で三羽射落し
 たら、後に三羽残つたといふ譯は?